

令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月8日(土) 男子 1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Bコート 第2試合

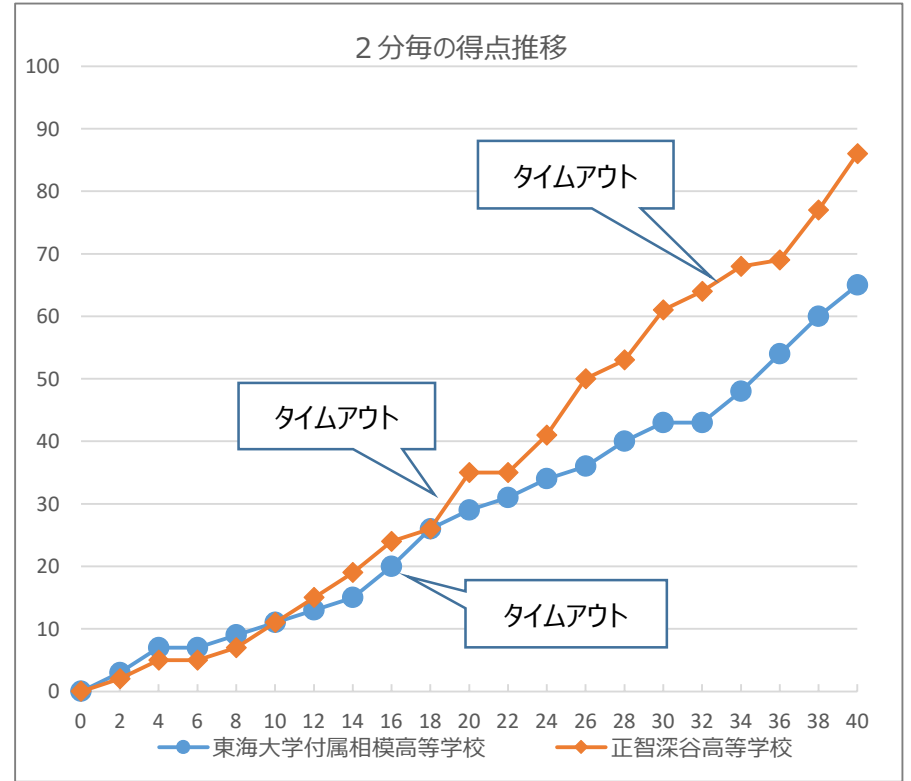
チームA	65	11	1st	11	86	正智深谷高等学校 (埼玉県)	チームB
東海大学付属相模高等学校 (神奈川県)		18	2nd	24			
		14	3rd	26			
		22	4th	25			
			OT				

Aチーム: 東海大学付属相模高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	御林 広樹	15	0	3	6	8	3	5	2	3	6	9
2	*	5	菅原 大夢	14	3	8	2	6	1	2	2	4	3	7
3	*	6	土田 トリスタン 葉	5	0	1	2	9	1	2	0	3	16	19
4	*	7	根岸 遥大	16	3	6	1	9	5	5	2	0	3	3
5	*	8	山田 尊	0	0	1	0	3	0	0	0	1	4	5
6		9	神谷 丈	2	0	1	1	2	0	0	1	3	3	6
7		10	市川 凌大	3	1	3	0	3	0	0	0	1	1	2
8		11	黒岩 優揮											
9		12	鈴木 タニエル アゴジエム											
10		13	吉松 拓海	7	1	2	2	2	0	0	2	0	0	0
11		14	武田 亨太											
12		15	吉田 琉生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
13		16	河野 圭佑	3	1	2	0	1	0	0	1	1	0	1
14		17	濱田 隼											
15		18	小林 幸也											
HC/TEAM			原田 政和									1	0	1
合計				65	9	27	14	43	10	14	10	17	37	54

Bチーム: 正智深谷高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	太田 誠	9	0	4	4	13	1	2	3	5	6	11
2	*	5	佐々木 謠	25	4	8	6	11	1	1	3	4	7	11
3	*	6	藤平 皓成	6	0	0	1	10	4	6	1	2	2	4
4	*	7	木村 遥音	13	2	8	3	9	1	2	2	1	5	6
5	*	8	大滝 唯人	22	1	4	9	16	1	1	1	6	6	12
6		9	奥山 誠海											
7		10	高橋 匠	4	0	2	2	2	0	0	2	0	0	0
8		11	関河 虎南	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
9		12	島本 海丸	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10		13	吉澤 斗真	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
11		14	船渡 優駿											
12		15	早川 泰世	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		16	市川 昭平											
14		17	ブンボン 蓮											
15		18	大友 心董											
HC/TEAM			成田 靖									1	0	1
合計				86	8	27	27	63	8	12	12	19	26	45



戦評

記者: 古田 厚司 (山梨県高体連)

両チームマンツーマンでスタート。  
 1Q、お互いに激しいディフェンスから得点チャンスを伺いながらゲームは進む。相模の#5の3P、#4のパワープレーで得点すると正智も#5のブレイクや3P、#4の3Pで応戦。互いにゲームの主導権を握らせないまま11-11で終了。2Q、両チーム変わらず粘りのあるディフェンスからブレイクを狙う。そんな中、正智#8の3Pを含めた3連続ゴールで正智リードしながらゲームが進む。残り5分12秒、24-18と正智リードしたところで相模はタイムアウト。そこから#6のゴール下のシュートから連続ゴールで残り2分15秒には26-26の同点に追いつき更に#13の3Pで逆転する。正智は慌てることなくディフェンスを頑張り#5が3P2本を含む3連続ゴールで36-29正智リードで前半を終了する。  
 3Q、に入っても互いに粘りのあるディフェンスは変わらない。相模の#5のゴール下の得点でスタートしたが正智は#6のポストプレー、#8、#4の連続ゴールで差を広げ、4分過ぎには44-34と10点差に。相模も粘り、差を縮めようとするが、正智は相模のターンオーバーを得点に繋げ、差を広げる。61-43、正智がリードで終了。4Q、に入っても正智の勢いは止まらず得点が加算されていくが相模は、我慢して粘る。22点差まで広がった差を#10#16の連続3Pなどで4分過ぎには15点差まで詰める。正智は慌てることなくゲームを進め、86-65で正智深谷が勝利した。

主審	第1副審	第2副審
一色 渉 (茨城県)	安藤 俊明 (千葉県)	山本 大輝 (山梨県)